

老花老ゆ〜

通巻第48号

北Qみらい NO.6



[発行]

〒806-0021
北九州市八幡西区黒崎3丁目15-3
コムシティ5階
北九州市立聴覚障害者情報センター

[連絡先]

TEL 093-645-1216
FAX 093-645-3335
E-mail
kitakyu-video@wel-tobata.jp

予告1 西部会館文化祭「であい・ゆめ広場」に聴覚障害の関係団体も多数参加!



コムシティに移転して初となる、文化祭「であい・ゆめ広場」を11月に開催します。この文化祭は、コムシティ全体の交流祭とあわせて開催します。この文化祭で、障害のある方やボランティアの日頃の活動等を披露し、市民との交流を深めたいと考えています。当日は、聴覚障害の関係団体にも多数ご参加いただき、手話クラス、バザー、作品展示に、ミニ手話教室などを実施いたします。ぜひ、障害のある人もない人も、新たな出会いと夢を探しに西部会館へ足をお運び下さい!

◆日時: 11月9日(日) 11時~15時

◆場所: 西部障害者福祉会館(コムシティ5階)、美術館黒崎市民ギャラリー(コムシティ3階)、子どもの館ステージ(コムシティ7階)

◆内容: ステージイベント、作品展示、体験コーナー、バザー、飲食販売、抽選会等

※変更になる場合があります。詳しい内容は会館に直接お問い合わせください。

問合せ:

西部障害者福祉会館
TEL 093-645-1300
FAX 093-645-1600

予告2 第12回 聴覚障害者情報センターの集い



全国で47番目、今年4月にオープンした聴覚障害者情報提供施設、佐賀県聴覚障害者サポートセンターを見学します。吉野ヶ里歴史公園にも行ってみませんか?

◆日時: 平成26年11月22日(土)

午前10時~午後4時半

JR黒崎駅の井筒屋バス停前に集合して貸切りバスで行きます。

◆場所: ①佐賀県聴覚障害者サポートセンター
②吉野ヶ里歴史公園

◆定員: 18名(定員になり次第締切)

※参加申込みは、同封のチラシにご記入の上 FAXで申し込んでください。



予告3 第6回 聴覚障害者支援セミナー

近年、聴覚障害者を取り巻く社会情勢も多様化し幅広い支援が求められています。求められるニーズに応えるため聴覚障害者への支援について市民の皆さんと一緒に学習します。今年は聴覚障害者の高齢者支援について、講演をお願いしています。また、実際に地域の高齢者支援活動の様子もご紹介します。ぜひ、ご参加ください。

◆内容: 「聴覚障害者の豊かな老後のために ~知っていますか田尻苑~」
講師=聴覚・言語障害者 養護老人ホーム 田尻苑 嘉村 幸江氏

◆日時: 平成26年11月29日(土)

午後1時半~午後4時

◆場所: 黒崎コムシティ5階
西部障害者福祉会館 501~503会議室

◆定員: 80名(定員になり次第締切)

※参加申し込みは、同封の申込用紙に住所・氏名を記入してFAXしてください。



報告1 聴覚障害者の精神保健福祉を考える研修会2014に参加しました**～共生のためのコミュニケーションと福祉援助～**

みなさんの周りに心の病気で悩んでいる人はいませんか。見えにくい、わかりにくいと言われる聴覚障害と精神障害をあわせもつ人の支援を考えるため、8月31日(日)社会福祉法人聴覚障害者情報文化センター主催の研修会に参加しました。参加者は会場が満席になる170余名で、この支援のあり方を全国から集まった多くの方が考えていることを知り、あらためて支援の必要性を強く感じました。

基調講演は立教大学助教 赤畑淳氏が聴覚障害の方に関わった精神保健福祉士15名の方にインタビュー調査をされ、分析した結果を基にお話されました。先生が図式化されたものをわかりやすく説明していただくと支援者として何に困っているのか、何が必要なのかなど、一つずつ明確に見ることが大切だとわかりました。また、双葉会診療所院長の片倉和彦先生のミニレクチャーは精神科医の立場からキーワードは「視線」でした。日常生活の何気ない会話を取り上げ、実際に二人の会話をしている様子を参加者全員で見ました。

聞こえる人はお互いに目を見なくても音声言語だけで会話が出来ますが、手話での会話はお互いの目を見ないと成り立たないという特性があります。しかし、聴覚障害の方を支援する時は目線を合わせることももちろん大事ですが、無理に合わせないこと、手話はわからなくても、寄り添う視線の意味は相手に伝わるということが、先生のお話でよく理解できました。

そして、主催者である情文センターの「手話通訳実践と他機関(行政・支援を行う事業所)との協働」では実際に行なった相談支援の取り組みの紹介がありました。他の支援者との連携(協働)がお互いに相乗効果となり、より充実した支援の様子を紹介してもらうことで、今後の支援にすぐ実践できる方法を教えていただきました。一人で悩んでいる人、心が不安な人に寄り添い、心の声に気づき、少しでも早く元気になってもらえるように今後もよりよい支援のあり方を考える貴重な研修となりました。関係者のみなさま本当にありがとうございました。

報告2 手と手でコミュニケーション パート1 を開催しました

日常的によく使っている単語「1週間の曜日」の手話表現を練習する受講者

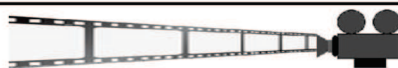


修了証を受ける受講者

毎週16時から、手話と点字各5回(計10回)のコースで開催しました。点字図書館及び聴覚障害者情報センターが入居しているコムシティ内で勤務している人を対象に、視聴覚障害者への正しい理解と簡単なコミュニケーションを取得及び、黒崎の街のバリアフリーを目指し企画したものです。手話コースに参加された15名中、3回以上の出席者12名に修了証を授与しました。

【参加者の感想(抜粋)】

- これまで考えなかったような気づきが毎回ありました。1人1人のちょっとしたやさしさで安心して誰もが生きやすい地域に近づけるのだと気づきは大きかったです。
- すべてが新しいことの発見でした。簡単な手話を教えていただき、手話に対する壁がとれたような気がします。
- 30分という短い時間でしたが、内容が充実しておりとても分かりやすかったです。また人数もちょうど良く雰囲気よかったです。
- 毎回、目からウロコの情報を知ることができてよかったです。

情報:日本語字幕付き上映日(10月)

☆「ふしぎな岬の物語」 10月11日(土)公開
主演: 吉永 小百合・阿部 寛・竹内 結子・笑福亭鶴瓶 他
字幕付き上映日 10月25日(土)・26日(日)

※上映実施日はホームページを検索してください。

- 交通機関での主なアクセス
・JR西小倉駅から徒歩約3分 ・JR小倉駅から徒歩約10分

◆お問い合わせ

T・ジョイリバーウォーク北九州
〒803-0812
北九州市小倉北区室町1-1-1
リバーウォーク北九州デコシティ4F

◆連絡先 TEL:093-573-1566
FAX:093-573-1653

◆MAIL kitakyushu@t-joy.net

報告3: 情報提供事業**8月11日**

平成26年8月11日(月)に「あ！そうなんだ！台風の備え」をテーマに、東部障害者福祉会館(ウェルとばた)で八幡西区役所総務企画課長堤氏にお越しいただいて台風のお話をさせていただきました。聴覚障害者18名、盲ろう者1名、難聴者1名の参加があり、身振り手振りを交えてのわかりやすい話でした。中でも「台風」と「竜巻」との違いについての質問があり「台風」は「竜巻」の範囲が広がったもの「竜巻」はある地域に集中して起こるものと詳しく話がありました。なかでも「台風が来てもあわてない」との意見も出て「台風」が来てどのような行動をすると危険なのか、どうすれば安全に過ごせるのかが分かった講演でした。皆さん、まだまだ台風シーズンです。講演の内容を思い出して台風に備えましょう。

報告4: ふれあいの会**8月24日**

毎年の恒例になった戸畑区南沢見夏まつりにお手伝い。朝から小雨でしたが、南沢見のみなさんがふれあいの会の手伝いを待っていてくださるので、ヨシ！とばかりに決行しました。残念ながら雨のために焼きそば・カレー販売は中止となり手際の良い野菜刻みや腕を振るっての焼きそば作りはありませんでしたが、聴覚障害者とスタッフ合わせて9名で野菜の袋詰めと販売を手伝いました。野菜販売では、たくさん買っていただいた高齢のお客さんには自宅まで同行して野菜を運びました。残り少なくなった野菜は箱を抱えて売り歩き、見事完売しました。

今回は午前中のみだったので十分なお手伝いはできませんでしたが、みなさんに喜んでいただき、おやつもいただき、楽しいひと時を過ごすことができました。

報告5: 聴覚障害者情報提供事業「ろうLGBT」**9月28日**

大阪から山本英由美さんをお招きし「＜多様な性＞を知り、自分の性を考えよう」をテーマに「ろうLGBT」について講演をしていただきました。今回は公開事業とし聴覚障害者だけではなく関係団体にも声をかけ、54名の参加がありました。

「レズビアン」「ゲイ」「バイセクシュアル」「トランスジェンダー」などについてのわかりやすい話に加え、正しい手話表現と差別的表現についても話がありました。講演中に自分のセクシャリティについて考えてみよう！と[身体][心][外見][誰が好き]シートが配られ記入し、みんな一人ひとり顔が違うように、一人ひとりのセクシャリティも違いがあることを理解することができました。また、LGBTが困っていることや支援についても現状を踏まえながらのお話を聞くことができました。今回の講演をきっかけに北九州でも「ろうLGBT」について考えていきたいと思いました。

**報告6: 派遣事業の件数 ^デ出ータ (専任手話通訳者、盲ろう者通訳・ガイドヘルパー、要約筆記者)****専任手話通訳者**

	個人	団体	計
7月	325	13	338
8月	279	8	287
9月	318	24	342
総計	922	45	967

盲ろう者通訳・ガイドヘルパー

	個人	団体	計
7月	14	0	14
8月	11	0	11
9月	17	0	17
総計	42	0	42

要約筆記者

	OHP	OHC	PC	手記	計
7月	0	3	6	8	17
8月	0	3	2	4	9
9月	0	6	1	8	15
総計	0	12	9	20	41



ビデオ制作のコーナー



豆知識: LGBTって?

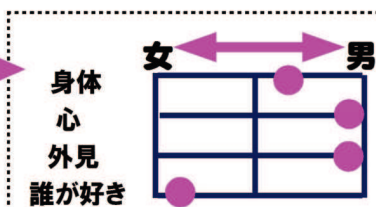
LGBTとは、性的少数者および多様な性的アイデンティティを持つ人のことです。

- ・L＝(レズビアン) 女として女が好きな人
- ・G＝(ゲイ) 男として男が好きな人
- ・B＝(バイセクシュアル) 女も男も好きな人
- ・T＝(トランスジェンダー) 性別を変えて生きる人

国内で、LGBT聴覚障害者は約15,000人いるそうです。



大阪府在住の山本 諒
(まこと)さんの性の指標
(トランスジェンダー)



下記の4つのものさしに自分自身の丸をつけてみましょう。

自分の性の指標

紹介: YouTube 難聴児のためのバリアフリーと共生社会へ ～耳の教室～



☆CS用「目で聴くテレビ つつうらうら」(10分)と特集(24分)を制作しました。

【タイトル】

- 「難聴児のためのバリアフリーと共生社会へ ～耳の教室～」(10分)
- 「特集 難聴児のためのバリアフリーと共生社会へ ～耳の教室～」(24分)

【内 容】

北九州市立八幡小学校、浅川小学校の耳の教室取材しました。担当教諭や校長、情報保障ボランティアの皆さんへのインタビューや、なかよし交流会、巡回ライブラリー、また先輩難聴者の活躍などを通して、社会の中でたくましく育っていく難聴児たちを描いています。

DVD貸出を行っていますのでぜひご利用ください。またYouTube(パソコン・スマホなど)でもご覧になれます。



編集後記: 男女共同トイレ?

先日の情報提供事業「ろうLGBT」で知ったこと。当事者たちにとって、「外出先で男女別になっているトイレには入りにくい。公共施設にある『誰でもトイレ』とか、コンビニや喫茶店の『男女共用トイレ』を使うことが多い。」ということ。イギリスやアメリカの大学では、トランスジェンダーのために男女共同トイレを採用しているところもあるそうです。タイには男女の体を半々に組み合わせたトイレのマークもあるらしいです。日本もユニバーサルデザイン社会を目指すのであれば、LGBTに関する知識の普及にもっと取り組むべきですね。

貸出状況の outcomes

	貸出人数	貸出本数
7月	9	23
8月	6	19
9月	5	11
総計	37	53